

【無料レポート】

より感度がよく、ディープなオーガズム
を得る彼女に変身させるための特別レポート

インナー&ボディ デザインスクール

校長 Dr. ヒロシ

発行者 須合 重晃

監修 ライフパートナー総合研究所

<http://lifepartner-soken.com>

武 まさる

★ Copyright (C) .2006 take-masaru All Rights Reserved★

著者の許可なく、当レポートの無断公開、無断引用、並びに無断転載を固く禁じます。
ただし口頭で大切な人や、ご家族等にお伝えいただく分には構いません。どんどんお伝えください。

こんにちは。

特別レポートの請求ありがとう。

インナー&ボディデザインスクールのDr. ヒロシです。

早速だけど、今までみなさんがあいまいだった「女性のからだ」についてピンポイントで語っていきます。

最近、女性について知らなさ過ぎる男性が多いですから・・・

あなたは女性についてどれほど知っていますか？

やはりセックスというのは、相手のことをどれだけ理解しているかが重要です。

もっと大事なことは、

「女性」についての知識をどれだけもっているかということ。

でも、あなたの女性についての知識は本当に正しいのでしょうか？

その確認はこれからすぐできます。

『あなたは女性についてどれほど知っていますか？』

「こんな人はじめて！」

彼女から、こんなこと言われたことってありますか？

男として、これほど自信のつく言葉はないですよ。

もし、言われたことがないなら、何か特別なすごいテクニックを会得したいと思いませんか？

その秘訣とは、

.....
.....
.....

そんなもの必要ないのです。

「はあ？ なんだよ！期待して損した！」

まあ、まあ、落ち着いて。

安心して下さい。

私が言ったのは、

“何か特別なすごいセックスのテクニク”は必要ないということです。

実は、もっともっと女性について知ることができれば、あなたも「こんな人はじめて！」って言ってもらえるようになれるのです。

いま、巷でたくさん出回っているセクステクニク。

女性について知らなさすぎるゆえに、それを鵜呑みにしてしまっている人が非常に多い。

私から言わせれば、「それって大丈夫なの!？」という一言に尽きます。

なぜ、巷に出回っているセクステクニクに不安を抱いているのか？

わたしは、皮膚・筋肉・からだのつくりを30年以上勉強し続け、現場で実践し続けています。

だからこそ、女性のからだがどれほどデリケートなのかよく理解しています。

よくある話で、

“女性のアソコの〇〇を刺激すると、×××してしまう!”

というのをみると、

「素人が安易に触ってしまうと、感じるどころか炎症を起こしてしまうってことを知ってて言ってるのかな？」

と疑問に思ってしまうのです。

なぜなら、“粘膜”というのは非常に傷つきやすいのです。

女性のアソコの中は粘膜です。

実は、アソコに刺激を与えるということは、細心の注意をはらってしなければ、傷をつけて炎症を起こしてしまうのです。

だから、これほどデリケートなんだと説明したうえで、せめて最低でも 5 点以上の注意点に十分ふれてから、テクニックの話をしてもらいたいものだ。

私のノウハウは、巷にある「気持ちよくなるテクニック」を使うということとは根本的に違う。

基本的に、私の考え方というのは、からだの皮膚や筋肉を正しく治してあげることで、性感帯が開発されるという、女性を綺麗にしながら、結果性感帯が開発されるというものだ。

それが、体の外側を良くしてあげるのか、内側を良くしてあげるのかということである。

そこで今日は、今日からでもすぐにできる即効性のあるワンポイントアドバイスとして、こんなことをお教えしましょう。

ここは是非、メモをとってください。

“刺激を与えるときのポイント”とは！

- ・ 強い刺激よりも、やさしい刺激
- ・ 早く動かす刺激よりも、ゆっくり動かす刺激

これが効果的なのです。

なぜなら、そういった刺激のほうが、彼女は感じやすいし、性感帯も開発されやすいからなのです。

さらに、具体的なアドバイスを！

実際に、**“どのくらいのカ加減でやったらいいのか！”**

それは・・・

あなたが、このくらいでいいかな？ と思う力の

3分の1の力で十分です。

「え？ そんな弱い力で感じるの？」

はい、そんな弱い力で十分なのです。

そのくらい、やさしい力のほうがいいのです。

挿入するときも、指を使うときも。

女性のからだって非常にデリケートで繊細なのです。

女性にとっては、あなたが思っている以上に、男性の力って強いのです。

このことは、常に頭の中に置いといてください。

“最低限の気配りとして”

せめて、自分のモノなり、指なり、彼女のアソコに入れる部位は清潔にしておきましょう。

温泉に入っただけでもカンジタになってしまう女性もいますので。

また、皮膚が荒れていたり傷がついていたりしないよう、きちんとケアしておきましょう。

荒れた皮膚でアソコの中をさわると傷をつけてしまう恐れがありますからね。

特に、指を入れるときは、爪で傷つけてしまわないように、短く・丸くするなど、十分に気をつけるようにしましょう。

じゃあ、実際に何からはじめればいいのか？

基本的に、挿入するだけでは女性はイカない。

まずはココを開発することが重要だ。

ココが女性の最も敏感な性感帯であり、ココの感度をアップさせると、彼女のセックスでの快感度もレベルアップするのだ。

では、それをより掘り下げてお話しよう。

最初に開発するところは・・・

『ココが開発されていない女性はイカない！』

「どう？すごく気持ちいいだろ！？」

セックスのとき、こんな言葉を彼女（妻）にかけてことって、1度や2度はありますよね。

彼女を喜ばせようと、一生懸命がんばって、エキサイトしてきた・・・

そのときに。

実は、こんな言葉をかけるときって、大抵は彼女は気持ちいいとは思っていないのです。

彼女をホントに満足させている男性はこんな言葉は使いません。

「え！？ それって、普通言うでしょ・・・」

そのとおり、多くの人が言っています。

どれだけ気持ちイイのかっていうのを、彼女の口から言わせたくて、発している言葉ですよ。

しかし、それは、「気持ちイイはずだ」と、男性が勝手に思い込んでいるだけなのです。

なぜなら、彼女がホントに気持ちよかったら、彼女自ら、言葉にして表現するか、明らかに気持ちイイというこらえきれない声が大きく漏れてしまうので、確認するようなまねはしないからです。

二のように、ほとんどの男性が、セックスに対して、いや基本的に女性に対して、間違った思い込みをしています。

「チンコが大きければ気持ちイイだろ！」

「こんだけ強く突けば気持ちイイだろ！」

「これだけ激しくピストンすれば気持ちイイだろ！」

と、思っている人が非常に多いのです。

あなたのために、ハッキリと言っておきます。

これらはまず間違い。

彼女に満足してもらいたいと本気で思うなら、

- ・ **基本的には、やさしく触ることである。**
- ・ **あとは、聞くこと。**

これがまず原則です。

そして、気持ちイイと言ったらソコしか触らないようにする。

彼女自身が、ソコが本当にイイところだと認識するまで。

さて、彼女（妻）を満足させるには、まずは彼女の性感帯を開発していくことが重要だ。

おさえておかなくてはいけない基本知識として、女性は基本的には、男性のモノを挿入するだけでは、ホントはイカないのだ。

入れるだけではダメなのだ。

女性は、挿入されると、基本的にクリトリスも感じているのです。

例えば、正常位で挿入すると、男性の下腹部がクリトリスにぶつかるでしょ。

そんなふうに、アソコとクリトリスと両方で感じているのです。

からだで一番敏感な部位は、クリトリスです。

まずは、そこから気持ちイイと認識しやすいところから開発していくことが、体中の性感帯を開発していく近道でしょう。

そこで、まず最初のステップとして、重要なことなのでよく聞いてくださいね。

「感じるけどイカない」とか「よくわかんない」という女性に共通していること・・・

何だとおもいますか？

それは・・・

クリトリスが小さいということ。

内気だとか、恥ずかしがり屋だとかいう女性に多いのだが、こういう女性はなかなかイカない。

なぜなら、

小さいということは「発達していない」ということなのだ。

基本的にクリトリスが発達していない女性はなかなかイカないのである。

そういう女性は、まずクリトリスを発達させることが大切なのです。

「どうやって発達させるのですか？やっぱり何度も触って慣れさせるのでしょうか？」

はい、おっしゃるとおりです。

しかし、ほとんどの男性が間違っただり方をしているので、今日は正しいやり方をあなたにお教えします。

あんまり触られたことのない女性は、触ると嫌がって、「痛い」とか言ってきます。

そういうときは、他を触ってまたそこを触ってという感じで、だましましやっていくのです。

そのときのポイントは、とにかく手を使ったらダメ。

それをほとんどの男性は手を使ってしまって・・・

どんなにそ〜とやっても圧がかかってダメなのだ。

そこで、舌を使うのです。

この舌の使い方についても、間違っただり方をしている男性が多い。

舌を使うとき、とがらせて硬くして触ったりついたりするのはダメ。

男って、相手が反応すると、調子にのって結構こんなふうにしてしまいがち

なんですよ。

舌を使うときは、力を抜いて、そろ~っと、やさしく舐めてあげるのがポイントなのです。

「じゃ、この先ずっとそういう舐め方しかしないようにするってことですか？」

いいえ、そんなことはありません。

安心してください。

何度か繰り返していくと、クリトリスがある程度、かたくて大きくなってきます。

そうなったら、少し強い刺激でも大丈夫です。

しかし、それでも弱い刺激のほうがいいのです。

ですから、クリトリスが発達している女性でも、「やさしく」「ゆっくり」という刺激がよいのである。

そうやって、1ヶ月も続けて触ったら、今度は次のところに移ります。

それを繰り返して、からだのいろんなところを開発していってあげるのです。

基本的に、女性はからだ全体が性感帯なのです。

それをひとつずつ、各部位ごとに開発していってあげることで、より感じやすく、ディープなオーガズムを得る彼女に大変身させることができるのです。

基本の方はもう抑えていただけましたか。

では、彼女の性器を開発すると彼女の性器はどんなふうになるのかという具体的な話をしよう。

感触はもちろん、見た目までもかわり、まるで別人のような反応に・・・。

アソコが変わるだけでなく、彼女自身が別人のように変わってしまいます。

あなたは、もう彼女を手離せなくなり・・・

それ以上に、彼女はあなたから離れられなくなってしまい・・・

アソコはどんなふうになるのだろう・・・

『名器ってどのくらいイイの！？』

「おねがいします、エッチしてください・・・」

これは、私のプライベートのことなのでちょっとはずかしいのですが・・・

実は、私がお付き合いしていた女性に言われた言葉です。

強制して言わせたわけではありません。

彼女が自ら言ってくるのです。

「ええ！？女の人がそんなこというの？」

そうですね、女性がこんなことを・・・。

彼女なのに、プライドも捨て、恥をしのんで敬語でおねだりしてくるのです。

たまたま、そういう人と付き合いしていたのではなく、お付き合いした女性の何人にも。

私が、彼女を名器にしてしまったことで、彼女のからだは、今までとはまるで違う快感が得られるようになってしまったのです。

その快感を得ようとする欲求の大きさといったら、彼女自身のプライドをはるかに上回って、恥をしのんでおねがいするほどです。

そこでまず、

「女性の“名器”とは、どんなものなのか？」

巷では“名器”とは、上付きだとか、締りがいいとか、ものすごく気持ちイイアソコというイメージがあります。

今日は、私が作る“名器”についてお話します。

まず、「どんな状態なのか？」

男性も、興奮するとチンコが大きくなって硬くポッキしますよね。

女性も感じると、膣内が大きく膨らむのです。

膣内の皮膚と筋肉を正しく治してあげることで、次のような状態になります。

膣内の筋肉が膨張して、伸縮自在のやわらかい肉厚の筋肉になります。

そうなることで、膣内の空洞が狭くなり、しまりが良いという状態になります。

この状態の膣に、男性のチンコを挿入すると、**チンコの先から、カリの凹凸、根元まで、適度な圧力でピッタリと密着する**のです。

具体的に例えるなら、まさに、ものすごく上手なフェラチオをされているかのようになるのです。

圧が強くてすぐにイッてしまうわけでもなく、適度な圧がかかっていて、適度な摩擦があって、快感を存分に楽しめるちょうど良い感触で・・・

それが、やわらかい唇のすばらしいところだ。

ただ、唇というのは、せいぜい厚さ 2 センチほどだから、フェラチオでは、やわらかくて弾力性のある唇が、男性のチンコに常に触れているのは一部だけである。

それでもあれほど気持ちイイのだから、“名器”になると、まさに、女性のアソコが入口から奥のほうまで唇のような感触になるのだ。

ペニスの先から根元まで、全て同時にフェラチオをしてもらっているような、

気持ちいい感触になってしまうのだ。

あなたは、「こんなに気持ちいいなんて・・・生きててよかった～～」と、おもわず固まってしまうよ・・・

という話をすると、皆、「名器の女性と一度でいいからやってみたい～！」って言うんですよね。

いま、あなたもそう思っているでしょ？

.....

まあ、男なら無理もないです。

しかし、“名器”の女性というのは、偶然出会うというのではなく、あなたが作ってあげるものだとして認識してください。

あなたが、彼女を名器に変身させることができるのです。

はじめっから名器だという女性なんていませんから。

また、ほとんどの人がそう思いがちなのですが、

「名器の女性」 = 「男性が気持ちいい」

というイメージがありますよね。

実は、“名器”というのは、男性が得る快感よりも、ずっとずっと女性自身のほうが気持ちイイのです。

先ほど、名器の女性とすると、男性にとってはフェラチオをしてもらうよりも気持ちイイとお話しました。

そこで、あなたは「どんだけ気持ちいいのだろう？・・・」って想像したはず

です。その想像したもの以上に、女性が得る快感のほうがものすごく気持ちイイのです。

「そうなったら、いったい彼女はどんだけ気持ちイイんだ!？」

ぜひ、彼女の顔を想い浮かべて想像してみてください。

.....

さらに、それほどの快感を、あなたと彼女がお互いにシェアしてしまったら、あなたたちカップルはどうなってしまうのでしょうか？

.....

あなたは最高の喜びを実感し、愛する彼女の最高の喜びも実感でき、この上ない満足感が得られるのです。

2人の中には、お互いにこころもからだも求め合う、素敵な愛がはぐくまれるのです。

さ あ、彼女に本物の快感を与えることができるようになると、あなたの知らない彼女を見ることができますよ。

彼女の中に眠っている資質について。

本来、女性であれば誰もが持っているMの資質。

しかし、通常ではまずお目にかかれない。

なぜなら、理性があるから。

女性が本当に気持ちイイ状態になると、理性よりも欲求のほうが圧倒的に強くなってしまふ。

こうなったときに、彼女の中で眠っていたMを呼び覚ますことができるのだ。

いったい、彼女はどんなふうになってしまうのだろう・・・

『女性は誰でもM！？』

「犯してほしい」

こんなことを彼女から突然言われたらどうします？

本来、女性はMの資質を持っているのだ。

それを呼び覚ますか否かという問題だけで・・・

プライベートな話で、ちょっと恥ずかしいのですが・・・

これは、実際に私がお付き合いしていた女性から言われた言葉です。

もちろん、強制はしておらず、彼女自身の口から・・・

これは、しゅう恥心よりも、プライドよりも、性欲のほうがはるかに上回った現象なのです。

実は、**女性が“ホントに気持ちイイの”を覚えてしまったら、簡単にMに作り変えることができるのだ。**

その証拠に、こんなお話をしましょう。

エッチしていて感じているときの彼女の顔って想像できますか？

実は、日常生活の中で女性が感じているときの顔が見れるんですよ。

「え！？女の人って日常生活の中でも感じているの？」

いえいえ、そうじゃありません。

私が言っているのは、あくまで「感じているときの顔」と「同じ顔」を日常生活の中で見つけることができるということです。

どんなときだと思いますか？

.....

.....

.....

実は、「痛い」とか「くすぐったい」っていうときの顔なのです。

「そんな、ばかな!？」

そう思うでしょ？

しかし、実際に

女性が机の角に足をぶつけてしまって「痛っ!!」って言うときの顔と、

エッチしていて、すごく感じているときの顔を、

それぞれ写真を撮って、顔だけを見比べてみると・・・

なんと！ 同じ顔をしているのです。

さらに、「くすぐったい」ときの顔も、写真を撮って、エッチしているときに撮った顔写真と比べてみると、驚くことに同じ顔をしているのです。

実は、「痛い」「くすぐったい」というときの顔は、全部、気持ちいいときの顔と一緒なのです。

顔だけ写真を撮って見比べるとよくわかりますよ。

だから、SM って、苦痛の延長に快樂があるのです。

痛いときのあとに快樂が得られるのです。

SM って、くすぐったり、痛くしたりするでしょ。

あれは同じなの、結局エッチして気持ちいいのと。

顔だけ見比べたら、「くすぐったいとき・痛いとき」と、「気持ちいいとき」って絶対わからないよ。

こんなことから分かるように、**本来、女性はMの資質を持っているのだ。**

彼女が“ホントに気持ちいいの”を覚えてしまったら、ある簡単な方法をするだけで、あなたの知らない彼女の一面を知ることができるようになりますよ。

Mの彼女をね。

さあ、それではそろそろとっておきの情報を。

彼女が、よりディープなオーガズムを得る女性に大変身してしまったら、
いったいどこまで感じるようになってしまうのか？

というお話をします。

「女性の絶頂っていつ！？」というお話です。

「やっぱりイクときじゃないの」

皆さんそうおっしゃいます。

実は、女性の快樂ってもっともっと奥が深いのです・・・

では、さっそくはじめよう。

いったい彼女はどのくらい感じるようになってしまうと思いますか・・・

『女性の絶頂っていつ！？』

「もうイキそうだから、一緒にイッて！」

どんなに経験の多い男性でもこの一言にやられてしまいます。

経験の少ない男性ならなおさらでしょう。

私も若いころはやられました。

「ん？ やられるって？」

実は、この一言で、男はだまされてしまうのです。

「なんだと！？」

誤解しないでください。

正確に言うと、2種類の使い方があるのです。

ひとつは、「痛いから」「めんどくさいから」もう終わらせようと、演技しているとき。

これは、どんなに遊んでいる男性でもなかなか見分けられません。

もうひとつは、決して彼女はだまそうだなんで、これっぽっちも思っていないで、本気でイクと思って言っているとき。

「ん！？ それのどこがだましているの？」

そう思うでしょ。

しかし、女性は、ホントに気持ち良かったら、こんなこと言わないのです。

なぜなら、

“本当の気持ちイイの”を覚えてしまったら、相手のことなんて考えていられないから。

自分がどんどん良くなっていくから、もっともっと気持ち良くなりたいと自分のことしか考えられなくなって、相手をイカせようなんて考える余裕がなくなってしまうのです。

それでは、女性がどんなふうに感じているのかについてお話します。

既に Web でも紹介させていただいておりますが、私は過去 30 年間、お店の施術のほうで 2,011 人もの女性にオーガズムを与えてきました。

プライベートのほうも合わせると、4桁目の数字が増えてしまうのではないかというほどです。

うちの店に来る女性は、大きく分けると、3タイプのお客さんに分かります。

- ・ 不感症の女性
- ・ 感じるけどイケない女性
- ・ イケけど、もっとすごいのを求めている女性

こういった女性たち全ての方に、本物のオーガズムを体験して頂いてきました。

イッたことのない女性も、イッたことのある女性も皆「こんなのはじめて！」という感想をおっしゃってください。

特に、イッたことのある女性が、「**今までイッたと思っていたのは、違うモノだったんですね**」と、言うのです。

ほとんどの人が勘違いをしているのですが、女性の場合、イクときが絶頂のときだと思っているようです。

確かに、男性と違って目に見えないので、いつが絶頂のときなのかが分かりづらいですね。

実は、女性がイクっていうのは、レベル的には“気持ちイイのを覚えた”というレベルの話なのです。

女性がイクっていうのが最高の快感だと覚えてしまったら、一生それ以上気持ち良くなることはできないのです。

イクっていうのは気持ち良くなる過程であって、そこから先のほうがきりが無いのです。

女性のホントの絶頂というのは、もっともっと果てしなく上のほうまであるのです。

なぜなら、

女性の場合、快感に天井がないからです。

そう、男性と違い、脳でイクのです。

だから、皮膚感を治してあげて、「こんなのはじめて！」という快感を体験させて、それをからだに覚えさせると、次のようなことが起こるのです。

た例えば、前回のセックスが、100点満点中100点という最高のセックスだったとしたら、次にセックスするときは、スタート地点がレベルアップしていて、50点の地点からスタートしてあがりはじめていくのです。

そうです、彼女に、前回の快感がインプットされたということになるのです。

ですから、次のセックスで、前回と同じように、彼女に100点満点のセックスをしてあげると、快感のスタート地点が0点ではなく、50点からのスタートとなるので、

$$50点 + 100点 = 150点$$

というように、彼女は150点もの快感を得ることができるのです。

「じゃあ、いったい彼女は、どこまでよくなってしまおうの？」

それは・・・

果てしなくどこまでも

です。

ですから、女性の場合、Best の快感というのではなくて、より Better な快感となるのです。

このように、どんどん開発されていくのです。

ただし、手を抜いたり、彼女を満足させられなければ、また 0 点の地点からのスタートになってしまいます。

通常、女性は「イク～」と言ってイッてしまったら、「もうやめて」と本気で言いますが、

“ホントに気持ちイイの”を覚えてしまったら、やめて欲しくても、やめて欲しいという気持ちよりも、やめて欲しくないという気持ちのほうが強くなって、女性自ら続けてしまうのです。

ただ、“ホントに気持ちイイの”を覚えてしまったら、という状態になるように、まず彼女のからだを開発してあげなくてははいけません。

男性も、絶頂に達して、イッたあとに、そのまま続けると、「ウウツ」と力が抜けてしまい、正直気持ち良くないですよ。ムズガユくて気持ちイイとはまた違う感覚ですよ。

女性も同じなのです。

そこを、**性器を開発してあげることで、イッたときに、もっと続けて欲しいという欲求のほうが強くなるようなからだにすることができるのです。**

もし、彼女のからだがこんなからだになると、それからどうなるか想像できますか？

.....

そのときは、もうあなたなしではいられないという体になってしまっているのです。

すなわち、あなたのトリコに・・・

ぜひ、このことを頭のすみに入れておいてください。

さ あ、ここまで女性について知ること、まずどこを開発すべきか、名器とはどんなものなのか、彼女が本当の良さを覚えるとどんなふうになってしまうのか、彼女はどこまで良くなってしまおうのか、お話してきた。

ある程度「女性」についてお話できたと思う。

これまでの話を読み返して、何かのヒントにしてもらいたい。

また、私は、

[「たった2週間で簡単にペニスを大きくした「カリ増大術」](#)」

[「ど〜うしてもエッチする気が失せちゃうアンダーヘアの裏事情
男性の10人に9人が彼女のソコに不満。愛している彼を虜にして
しまうほどに美しい「禁断のアンダーヘアデザイン11の法則」](#)」

もプロデュースしております。よろしければご覧下さい。

それでは、特別レポートもこれで終わりです。

ほんの1行だけでも役立ってくれたら幸いです。

それではまた。

追伸

いま得られている結果に満足していないなら、やり方を変えなければならない。

どんな些細なことでも構わない。

バスタの触り方ひとつ変えるだけで、どんどん状況は変わり始めるからだ。

どんなに小さなことでも、「愛する人の満足した顔」があなたの自信につながっていけば、今は、それで良いと思う。

インナー&ボディ デザインスクール

校長 Dr. ヒロシ

発行者 須合 重晃

監修 ライフパートナー総合研究所 <http://lifepartner-soken.com>

武 まさる